

coop

兵協連だより

HYOGO CONSUMERS' CO-OPERATIVE UNION

2018 **11**



10月4日、兵庫県民会館で「2018年度兵庫県生協大会」を開催し会員生協の組合員と役員・職員など285人が集いました。今年度は、生協法施行70周年を記念して兵庫県知事表彰を3生協に、生協功労者表彰として「兵庫県知事感謝」、生協業務に精励した役員・職員に「兵庫県生協連合会表彰」を贈りました。「食べることと歩くことが出来れば人生は幸せ～二つのソクイク（息育・足育）で元気生活～」をテーマに、みらいクリニック院長今井一彰氏の講演があり、生活習慣の改善やセルフケアの重要性を学びました。（関連記事P.3）



甲南大学生協同組合
専務理事

内田 真紀子

(うちだ・まきこ)

事業の生まれるところ

鮮やかな紅葉の季節となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

さて、甲南大学生協では、2018年のテーマを「固」とし、この漢字の持つ意味の「強い、本物」など職員約200人で、自分なりの「固」を意識した上での事業活動を行っています。

2019年に創立100周年を迎える甲南学園は昨年、甲南大学岡本キャンパスに新しい福利厚生施設「KONAN INFINITY COMMONS」を開設しました。甲南の学生の個性を「無限大」に活かす。このような想いから誕生した施設の中で、生協としても年度のテーマを「挑」として、多くの新規事業を1年間運営してまいりました。生協関係者の皆様にも見学に来ていただき、「もう一度大学生に戻って通いたい」というお声を多くいただいています。

2001年に、生協の知識が無い一女子大生が教授に薦められ大学生協に就職を決めたきっかけは、「生協の歴史は、困ったな」と悩んでいる人が協力して、同じ悩みを解決するための事業を新しく発展させてきた」と聞き、共感をしたことからでした。近年は生活が便利になった反面、顔を合わせて自分の悩みを話す場面が少なくなり、大学生協の新規事業は、組合員の悩み

から生まれる事よりも、生協以外の他業者が行っていることからの転換が多くなっているように感じます。今月から甲南大学生協を含む各大学生協は一部地域を除く全国で手をつなぎ、新しい事業組織を作りました。組織が大きくなったことでのマスマリットを生かし、組合員への還元を強化するのはもちろんですが、組織の都合に組合員を合わせさせることの無いよう、常に初心を忘れずに事業運営を進めていかねばなりません。

甲南大学生協は2020年に創立50周年を迎えます。大学生から社会人になる過程の大事な時期に関わらせていただいている立場として、今の組合員一人ひとりが抱える悩みを「あなただけではなく、周りの人も同じ悩みを抱えている」という事を伝え、孤立させないための事業を生み続けたいと考えています。そのためアンテナをもち続けられるよう、改めて「固」を意識し中身を強く磨いていく所存です。今後とも、ご指導、ご鞭撻のほど、どうかよろしくお願ひ申し上げます。



CONTENTS

2. 想点
3. 兵庫県生協大会
4. 第3回理事会報告／緊急通行車両担当会議
5. 「ひょうごまるごと健康チャレンジ2018」キックオフ大会

6. 協同組合のかけ橋
7. 兵庫県のページ／ヨッシーの窓
8. ひょうごまるごと健康チャレンジ2018に登録しよう！／共同募金／県連日誌／編集後記

兵庫県生協大会を開催

テーマ 協同が息づく兵庫のまちづくり

10月4日、兵庫県民会館で、2018年度 兵庫県生協大会を開催し、
会員生協の組合員、役員や職員など285人が集いました。

第一部 記念式典は、姫路市民共済生協 大塚 泰生さんの司会で始まり、主催者を代表して兵庫県生協連 木田 克也 会長理事が挨拶。引き続き、ご来賓の兵庫県副知事 金澤 和夫 様よりご挨拶をいただきました。続いて行われた表彰式では、生協法施行70周年を記念して兵庫県知事表彰を3生協に贈られました。次に長年にわたり生協の発展に寄与された3人の会員生協役員に生協功労者表彰として「兵庫県知事感謝」が贈られました。その後神戸市民参画推進局 部長 丹本 陽 様、兵庫県議会 議長 松本 隆弘 様より、それぞれ生協への期待がこめられたご祝辞をいただきました。また、生協業務に精励した21人の役員・職員に「兵庫県生活協同組合連合会会長表彰」が贈られ、会場からも大きな拍手が送られました。続いて7月の西日本豪雨による被災地支援として日本生活協同組合連合会から兵庫県内の被災者への義援金贈呈式があり木田 克也 会長理事から橋本 正人 県民局長へ目録が贈られ、橋本 正人 県民局長から木田 会長理事へ感謝状が渡されました。

第二部は、「食べることと歩くことが出来れば人生は幸せ」二つのソクイク（息育・足育）で「元気生活」と題して、みらいクリニック 院長 今井一彰氏の講演がありました。「あいうべ体操・ゆびのば体操」をユーモアを交えながらわかりやすく説明いただき会場は大いに盛り上がりました。また、会員医療生協による「健康チェック」や「公財」兵庫県健康財団「コープ共済センター」による健康づくりと疾病予防の取り組みと「ひょうごまるごと健康チャレンジ」申込みの受付を行いました。ロビーでは「フェニックス共済」「兵庫労働共済生活協同組合」の共済紹介も行われ、多くの参加者でにぎわいました。



兵庫県 金澤和夫 副知事



神戸市 丹本 陽 部長



兵庫県議会 松本 隆弘 議長



義援金贈呈 (右) 兵庫県 橋本 正人 局長
(左) 木田 克也 会長理事



みらいクリニック
今井一彰 院長



健康チェック活動

2018年度 知事表彰・生協功労者表彰

(順不同・敬称略)

●生協法施行周年記念に係る知事表彰

生協名
園田学園女子大学生生活協同組合
甲南女子大学生生活協同組合
神戸市立工業高等専門学校生活協同組合

●兵庫県知事感謝

氏名	所属生協	役職名
山口 健治	生活協同組合コープこうべ	専務理事
小坂 仁	兵庫県立大学生生活協同組合	常務理事
千葉 裕	たじま医療生活協同組合	前理事長

●兵庫県生協連合会会長表彰

氏名	所属生協
今井 一人	生活協同組合コープこうべ
竹本 俊哉	生活協同組合コープこうべ
河崎 俊文	生活協同組合コープこうべ
佐藤 洋子	生活協同組合コープこうべ
大澤 幸司	生活協同組合コープこうべ

氏名	所属生協
福田 靖弘	生活協同組合コープこうべ
岸 美穂	生活協同組合コープこうべ
宮地 毅	生活協同組合コープこうべ
藤井 清子	生活協同組合コープこうべ
広田 大介	生活協同組合コープこうべ
山根 一夫	神戸医療生活協同組合
川端 典子	神戸医療生活協同組合
大石 至	神戸医療生活協同組合
富澤 洪基	尼崎医療生活協同組合
高松 典子	尼崎医療生活協同組合
城下 安代	尼崎医療生活協同組合
真淵 幸子	宝塚医療生活協同組合
和田 欣也	ろっこう医療生活協同組合
能勢 由佳	神戸市民生活協同組合
岡本 直子	姫路市民共済生活協同組合
鈴木信太郎	兵庫労働共済生活協同組合

2018年度兵庫県生協連 第3回理事会報告

【開催日時】 2018年10月1日 14:00~15:50

【開催会場】 兵庫県民会館 12階「1201」

【出席者】 木田会長理事、高橋副会長理事、田中専務理事、新保、岡本、大沼、藤井、松永、福島、鈴木、西谷、本多（以上理事）、金丸、中川、岡村（以上監事）

報告事項

1. 分野別生協からの活動報告（各理事、監事より）
2. 大学生協関西西北陸事業連合の合併について
3. 2018年度兵庫県生協大会（10月4日）について
4. 「ひょうごの生協2018」について
5. 2018年度東日本被災地支援活動について
6. 第21回兵庫県・兵庫県生協連共催の監事研修会について
7. 初級経理学校と第17回税務・経理講習会について
8. 【JCC】虹の仲間づくりカレッジについて
9. 【JCC】協同組合研究・交流会について
10. 前回理事会～10月1日までの兵協連行事・諸活動報告について（部会、委員会、研究会、日生協運営委員会等の報告）
11. 2018年10月～兵協連主要行事スケジュール

兵庫県生協連2018年度 「緊急通行車両担当会議」を開催

9月26日、兵庫県民会館で「2018年度 緊急通行車両担当会議」を開催、10会員生協・1株式会社から7名が参加しました。兵庫県からは、企画県民部県民生活局消費生活課 山浦 萌子氏にご参加いただきました。この会議は、2008年1月に兵庫県と兵庫県生協連が締結した「緊急時における応急生活物資供給等に関する協定書と実施細目」に基づき、応急生活物資の運搬および医療活動を円滑に行うために緊急車両の許可がすみやかに得られるよう制定された事前届出制度について確認することを目的に開催しています。

はじめに「緊急時における応急生活物資供給等に関する協定書・同実施細目」について共有化を行い、続いて緊急通行車両事前届出制度について、さらに2017年度末登録台数の確認や新規、廃車、移動などに関する届出、また、メンテナンススケジュールと申請の締め切りについての確認、質疑応答を行いました。



「ひょうごまるごと健康チャレンジ2018」 キックオフ大会

～カラダはじめ・はかるのチャレンジDAY～開催

これまで各医療生協が独自に取り組んできた「健康チャレンジ」。2018年度から規模を拡大し、県下の生協や協同組合と一緒に「ひょうごまるごと健康チャレンジ」として12月31日まで実施しています。

そのキックオフを兼ね、秋晴れとなった9月22日、コープこうべ協同学苑を会場に、各生協の「食と健康」に関する様々な活動や取り組みを紹介、体験できる「カラダはじめ・はかるのチャレンジDAY」を開催しました。会場には県内各地から790人を超える方の参加で賑わいました。

午前10時、中庭の特設ステージでのオープニングは、こいちや、北原ゆかによるミニライブでスタート。コープこうべのキャラクター「コーピー」やコープ共済「コーすけ」、献血推進キャラクター「けん



「トークセッション」



進行役の「はじめ・はかる」

けつちゃん」らもステージに花を添えてくれました。全体進行は「はじめ・はかる」に扮した音楽グループ半熟BLOODの菜つ美さんと漫才師コンチエルトの池永さんが務め、会場内の見どころ等を順次紹介してくれました。研修棟では「食べ方はかって健康づくり」「正しくみがいて健康づくり」「からだはかって健康づくり」「みんなのプチ善意で健康づくり」等々のブースに分かれ、コープこうべや医療生協（尼崎・阪神・姫路）、コープ共済や兵庫県ユニセフ協会、日本赤十字社等が健康づくりに向けた取り組みを紹介しました。また、中庭の回廊を活用し、ろっこう医療生協による「カラダに優しい歩き方測定」の実施や、隣のピロティでは農協が地場野菜やおにぎり、漁協は牡蠣お好み焼き等を販売する等、まさに県下の生協や協同組合が一緒になって取り組みました。

午後からは、BDHQでおなじみの東京大学大学院 佐々木敏教授とラジオ関西の三上公也アナウンサーによるトークセッション「健康と食生活 栄養健康リテラシーを身に付けてよう！」を開催。日常使われている言葉を適切に理解・解釈することの大切さをユーモアを交え

ながらわかりやすく説明いただき、270人を超える来場者で満杯の会場は、大いに盛り上がりました。

生活習慣や食習慣を改善する、健康づくり習慣の大切さや、各生協が取り組んでいる様々な食や健康の活動を知っていただける良い機会になりました。



JF 兵庫漁連のカキオコ販売



JA 兵庫中央会のおにぎり販売



「からだはかって健康づくり」



「食べ方はかって健康づくり」

協同組合のかけ橋

JF

淡路市漁業振興協議会

おさかな教室 干しダコ作りに挑戦

9月7日(金)淡路市漁業振興協議会(JF一宮町社領弘会長)主催の「おさかな教室」が淡路市立北淡小学校の6年生30名を対象に行われました。この教室は、兵庫県漁業士会による第1回の開催から数えて今年で第10回目となります。この日のスタッフは同協議会と県、淡路市職員に加え、地元4漁協(富島、浅野浦、育波浦、室津浦)の職員も集まり総勢17名となりました。

社領会長の挨拶のあと、干しダコ作りがスタート。まず、お手本として洲本農林水産振興事務所水産課の職員が、マダコの急所を突いて締め、一瞬でタコの体が真っ白になる様子を見せた後、内蔵を取るなど下処理を実演しました。その後、児童1人ずつに活きたタコが手渡され、下処理に挑戦です。活きの良いタコを締める作業に手こずる児童が多かったものの、スタッフの補助もあり下処理が完了。次はタコを吊して干す作業を実演し、児童らも見よう見まねで作業を始めました。ぬるぬるのタコがうまく持てず地面に落としてしまう児童や、干しダコの形に上手く仕上げられない児童など、なかなか苦戦したようですが全員が干しダコを作り上げ、下校時間まで学校で天日干しされたあと、児童が家に持ち帰りました。

児童たちからは、「気持ち悪かったけど楽しかった」、「締めるのが難しかった」、「お母さんにタコ飯を作ってもらおう」などの声が聞かれ、貴重な体験となったようです。



JA

JA たじま

「たじまに生きる たじまを活かす」を スローガンに但馬の米のブランド力強化を

JA たじまは、「たじまに生きる たじまを活かす」をスローガンに、但馬地域の特色をいかした自己改革に取り組んでいます。その中で、農業者の所得増大を目的とした、米のブランド力強化の取り組みを紹介します。

コウノトリが生息する円山川下流域と周辺の水田は、ラムサール条約の登録湿地となるなど、地域を挙げて自然環境の保護に取り組んでいます。同JAは野生復帰したコウノトリが住みやすい環境づくりの一環として「コウノトリ育むお米」の栽培に取り組んでいます。同米を生産する4人の農家が平成30年1月、農産物の国際的な安全基準である、グローバルGAPのグループ認証を取得しました。また、海外への輸出にも取り組んでおり、アメリカ、シンガポール、ドバイ、香港などへ定期的に輸出をしています。また、さらなる知名度の向上と需要拡大に向けて、2020年の東京オリンピック・パラリンピック大会の選手村で提供される食材として採用されることを目指しています。

今後は、GAPを取得した米について、全量有機JAS認証取得を予定しています。有機JAS認証は農薬等の化学物質を使わず生産された農畜産物であることを示すもので、安全・安心を追求したお米として、さらなるブランド力の強化を目指します。



グローバルGAPのグループ認証を取得しました。



最近の消費生活相談事例

不用品の訪問買い取り ひとりで対応しないで

事例

「古着を買い取る。」という電話が女性からあり、着なくなった服を買い取ってもらおうつもりで訪問を承諾した。

訪問してきた男性は、服はざっと見ただけで、「貴金属はないか。見積もりだけでもいいから見せてほしい。」と言った。断ったが、帰ってくれないので、指輪などを見せたところ、勝手に査定され代金を渡された。大切な指輪なので返してほしい。(80代・女性)

【アドバイス】

不要になった衣類や靴などの買い取りをきっかけに自宅に上がり込み、貴金属を安く買い取られるという相談が多く寄せられています。

これは「訪問購入」と言い、特定商取引法で規制されています。

クーリングオフ制度により、法律で定められた書面を受け取った日を含め8日以内は無条件で契約の解除が可能です。しかし、一度物品を引き渡すと、取り返すことが困難な場合がありますので、契約後もクーリングオフ期間（8日間）内は手元に物品を置いておきましょう。

他にも、訪問購入での飛び込みの勧誘やしつこい勧誘、買い取る物品の種類を明示しないで勧誘すること、迷惑を覚えさせるような方法で引き渡しを迫ることも禁止されています。

自宅での不用品買い取りは、店頭を持参する必要がない点がメリットですが、デメリットとしては買い取り価格の妥当性が判断しづらい点や断りにくい点などが挙げられます。

不用品の買い取りを利用する時は、

- ①突然訪問する業者を家に入れない。
- ②利用するときは、対応は1人でせず、家族などに立ち会ってもらおう。
- ③買い取りの際は事業者の連絡先・物品の種類や特徴・買い取り金額・クーリングオフ制度について記載された書面を必ず受け取る。
- ④売却したくない場合はきっぱりと断り、毅然と対応する。

なかなか帰ってくれず困ったときには警察を呼びましょう。不明な点があれば最寄りの消費生活センターに相談してください。(兵庫県立消費生活総合センター ☎078・303・0999)

適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネット

ヨッシーの窓



みなさま、こんにちは。適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネットの吉江直記です。

11月になると、今年もあとわずか、という締め切りに迫られるような気持ちになります。とはいえ、秋本番の11月は、昔から好きです。日中はほかほかしていて、日が暮れると寒い気候は、私にとって、とても、ちょうどいいのです。そう、私は海や山でバーベキューやキャンプなどが得意ではないので、なおさら、この時期が好きなのかもしれません。

さてさて、最近の差止請求活動について、お話ししたいと思います。水回りの修理トラブルってご存知でしょうか？水道が故障して、マグネット広告見て、業者に来てもらったら、高額な修理費を請求された、また、クーリング・オフできないと言われた、というようなトラブルです。兵庫県内でも、このようなトラブルは多く発生しています。ひょうご消費者ネットは、今、トラブルの多かった水道修理業者に対して、不当な行為をやめるように、差止請求訴訟を提起しています。訴訟を通じて、事業者の対応が改善されて、一人でも消費者被害に遭ってしまう方が少なくなるとしてほしいと願うばかりです。詳しくは、ひょうご消費者ネットのホームページをご覧ください。(ひょうご消費者ネット 理事 司法書士 吉江直記)



ひょうご消費者ネット
連絡先

〒650-0011 神戸市中央区下山手通五丁目7番11号兵庫県母子会館2階C
TEL: 078-361-7201 E-mail: office@hyogo-c-net.com

MOVE

ひょうごまるごと健康チャレンジ2018に登録しよう!

今からでも、何度でもチャレンジできます!

まだチャレンジに参加していない方、2回目、3回目に挑戦される方もお待ちしております!

2018年9月1日～12月31日 期間中の30日間

好きなコースにエントリーし、目標を決めて結果をチャレンジカレンダーに記入。

終了後は結果ハガキを提出する。Webでも登録や報告ができます。

■チャレンジコース

「はじめさんコース」

1. はじめてのあいうべ体操
2. はじめてのサロン
3. はじめての禁煙
4. はじめての正しい手洗い

「はかるさんコース」

5. 食べ方をはかろう
6. 血圧をはかろう
7. 歩数をはかろう
8. いどむくんコース

WEBエントリーがおすすめです

健康チャレンジはWEBからもエントリーおよび報告ができます。



<https://health-challenge.jp/hyogomarugoto>



「助け合い 広がる つながる 赤い羽根」

10月1日から第72回赤い羽根共同募金運動が始まりました。お寄せいただいた寄付金は、兵庫県内の地域福祉活動の推進に役立てられます。

また、寄付金の一部は、大規模災害発生時における被災地でのボランティア活動を支援するために積み立てられています。

今年度も、あたたかいご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人 兵庫県共同募金会

www.akaihane-hyogo.or.jp



兵庫県共同募金会マスコット
あかはねちゃん

県連日誌

- 11月2日(金) 兵庫県・兵協連共催 第21回監事研修会
- 11月6日(火) 兵庫県JCC協同組合研究・交流会 (県民会館 1202)
- 11月13日(火) 兵協連第4回生協活動委員会 (県民会館 302)
- 11月15日(木) 兵協連第2回共済生協部会 (県民会館 301)
- 11月20日(火) 兵協連初級経理学校 (県民会館 1202)
- 11月26日(月) 兵協連第2回大学生協部会 (県民会館 302)
- 11月27日(火) 兵協連第2回医療生協部会 (県民会館 302)
- 11月30日(金)～12月1日(土) 兵協連保健・医療・福祉研究会 研修 (おたがいさままつえ・やすぎ)

編集後記

猛暑が続いた今年も、やっと涼しくな
り体を動かすには良い季節になりました。
10月4日(木)兵庫県生協大会が、兵庫県民
会館9階けんみんホールで開催されまし
た(関連記事P3)。また、902号室にし
て各医療生協・コープ共済センター・兵
庫県健康財団が主催の「健康チェック活
動」が行われました。各医療生協の支援
者のみなさまが機器の搬入・会場設定か
ら運営まですべてご協力いただきました。
ほんとうにありがとうございました。
いろいろな催しのたびに各団体のみな
さまの支援に感謝感激しております。今
後ともよろしくお願いします。(村上)

